

# S S K W

## 巣立ちだより



### 目次

西博義氏（厚生労働副大臣）来所	..... 1~2
巣立ちホーム調布第4 運営開始	..... 3
第2回 愛のふれあいコンサート	..... 4~5
平成16年度決算報告	..... 5~6
コニー・ロビンソン氏講演会	..... 7
賛助会決算報告	..... 8

## 西博義氏（厚生労働副大臣）見学に来所

巣立ち会にはこれまでに何回か、厚生労働省の方々が施設見学にいらして下さっています。そして、5月27日（金）午後には、厚生労働副大臣の西博義氏が来られました。

当日はまず、こひつじ舎をご案内しました。そして、今回はメンバーの気持ちを知ってもらいたいと考えて、座談会を行ないました。



（西博義厚生労働副大臣）

メンバーからは、32年間の入院歴の話をする人がいた一方で、「こひつじ舎に通わなければ退院はなかった」「こひつじ舎は明るくメンバーも優しい、来るのが楽しい」との話が出ました。

また副大臣からの、「家の地域で通える身近な作業所を目指し、他障害と共通の作業所を作っていきたい」とのご説明に対して、メンバーからは、「周囲の目があり、近所の施設に通えない現状もある。身近に施設があることも大切だが、差別や偏見をなくす環境をつくる方が大切ではないか」との率直な意見も出ていました。

さらにメンバーから、「なぜ障害者自立支援法では利用料を取るようになるのか」との質問があり、「低所得者には配慮がある。利用料をとることによって施設が増えれば良いと考えている」とのご説明がありました。

社会的入院に対して、「社会と長い間かけ離れてしまい、不安になるのですね。退院は一人で生活していかねばならず大変ですが、自由があつていいのですね」と共感していただき、メンバーの一人一人に対して親身に話を聞いて下さりました。“働ける場が欲しい、社会に参加したい”というメンバーの気持ちが伝わったのではないかと思います。



（メンバーの声に耳を傾ける西氏（左端））

その後、巢立ちホーム三鷹第2に移動し、入居中のメンバー2名がそれぞれの居室で、今までの体験や現在の生活についての話をしました。

「以前入院していた病院は、開放病棟ということもあって自由だったが、退院には積極的でなくて、退院準備もケースワーカーは何もしてくれなかった。しかし、吉祥寺病院は規則が厳しかったが退院には熱心で、糖尿病のインシュリン治療が自分できるようにと準備をして退院することができた」と語るメンバーに対して、「退院させっぱなしでは意味がない。バックアップ体制が大事。退院先を作るのも大事だが、ハード面だけでなく退院後を支えてくれるソフト面も重要ですね」とのご感想を話していました。

一人30分ほど時間を割いて、丁寧に話を聞いていただき、メンバーに質問もされていました。お忙しい中いらしていただき、本当にありがとうございました。

西副大臣のご見学に先立ち、5月24日（火）に、厚生労働省の職員の方々が、こひつじ舎に見学に来られました。

メンバーから「入院生活が長いと、入院生活に慣れて満足してしまう」「作業所は、働いているという実感が沸き、生活のリズムが整えられるので良い」といった意見や体験談が出されました。

また、メンバーによる施設説明に対して、厚生労働省の矢島課長からいくつか質問がありました。

「作業時間は9時から15時半となっていますが、それくらいが適当だということですか？」との質問に対して、メンバーは「服薬していることもあり、疲れやすくなっている。30分延びることも辛いときがある。午前だけの利用にしている人もおり、妥当だと思う」と答えていました。

また、巢立ち会が力を入れている病院への出張講演の成果はどうかという質問もあり、「退院のめどがつかないと、退院したいという気持ちにはなれない。地域の生活体験を同じ立場のメンバーから聞くことで、社会資源を知って退院に対して希望を持つことができる」と答えていました。

メンバーからも意見が出ました。「障害者といっても多種多様なのに、一つの法律（障害者自立支援法）でくくってしまうのは無理が生じないか」との質問に「身体、知的、精神障害者のサービスメニューを比べると、精神障害者のサービスは数が少ないが、内容はほぼ同じで、それを障害別に分けて決めるとかえって使いづらいものになってしまう。三障害のどの窓口から入るかによってサービスの容量や補助金の額が異なるのはおかしいと感じている。三障害一本化に無理は生じないと考えている」と、丁寧に答えて下さりました。

その他にもメンバーから意見が活発に出され、病院と地域の違いや、日頃のメンバーの想いが伝わったようで、有意義な座談会になりました。

当会では、今後も行政の方々だけでなく、広く地域の皆様に活動を知っていただきたいと考えております。お気軽にお問い合わせ下さい。

## 巣立ちホーム調布第4 運営開始しました

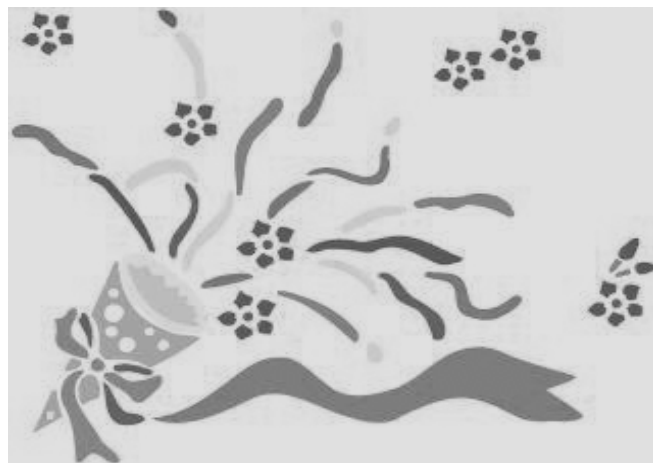
4月から新しく「巣立ちホーム調布第4」というグループホームが巣立ち会に仲間入りしました。ここは、3つのアパートをあわせて、1つのグループホームとして申請しましたが、まだ補助金が出ていません。

しかし、こちらに入居されているメンバーへの支援も大切にしたいと考えており、様々なサポートに加えて週2回の夕食会を開いています。夕食会は、人数が少ないのでアットホームな雰囲気で行われています。

また夕食会後は、皆さん退院をされて間もないので、一人暮らしの生活についてなど、それぞれ意見を交換しあいながら助け合っています。私たち職員も、メンバーが巣立ち会の理念でもある「自尊心をもって生きる」「助け合える仲間がいる」「地域で安心して生きがいを持って生活できる」と思えるようにサポートしていきたいと思っていますので、これからもご支援のほどをよろしくお願い致します。以下、メンバーの感想です。

アパート生活も約1ヶ月になりますが、病院にいた頃は何かと、「外の世界」に出る事が心配でした。ところが暮らし始めてみると、まず本当の自由、好きな物が食せる、皆と一緒に木の下のサーカスを時間を気にせず見に行き（サーカスは無料）帰りは皆と一緒にお茶を飲む。一日の生活の流れをお話しますと、朝5時に起き、6時からテレビをつけて新聞を読み、たっぷり朝食を摂り、AM7:15頃には家を出て、作業所にはAM7:40頃に着きます。作業所の鍵を預かっておりますので鍵を開け、まず電気をつけカーテンを開け、コーヒーを沸かし、お茶を沸かし、お台所の掃除をして皆さんの来るのを待っています（作業開始はAM9:00です）毎日が楽しく、退院前に何かと心配していた事がうその様です。たくさんの方にお世話になりました。ありがとうございました。これから前向きにがんばっていきたいと思っています。これからもよろしくお願い致します。（H・S）

ちょっと狭いけれど、とても綺麗な部屋で、見つけてくれた田尾さん、どうもありがとうございました。これからの生活にワクワクしています。（横内原）



楓コーポに入居して1ヶ月になります。自分の時間ができてさいこうです。自由がありすぎてたまにたまに。グループホームに入居できてよかったです。（志賀明美）

鳥谷敏です。退院して、恵コーポに住んだわけですが、僕は以前車の免許を取り、カーセルスそして外国の企業で何年か働き、アパート経験は何年かある有るわけですが、皆さんもアパートその他の生活を行う場合はしっかりと意思表示し、まじめに働いて、まじめに働いてアパートその他の生活を大事にエンジョイ楽しんでください。（鳥谷敏）

## 巢立ち会 第2回 愛のふれあいコンサート

6月24日(金)の夜に、当会が主催する「愛のふれあいコンサート」が、調布市文化会館たづくりの「くすのきホール」にて開催されました。これは、昨年の12月に開催された第1回に続いて2回目です。

今回のご出演は、ヴァイオリニストの大谷康子氏と、ピアニストの長富彩氏をお願いいたしました。お二人をご紹介下さったのも、前回同様に巢立ち会を長らく支援して下さっている玉の肌石鹸・ミヨシ石鹸株式会社の三木晴雄社長でした。もっと多くの方々に私たちのことを知っていただきたいという願いを、社長は十分にならえて下さりました。心より御礼申し上げます。



(左; 三木社長、右; 長富彩氏)

今回の開催が決定したのは3月。会場も、前回の大成功をふまえて2倍の大きさのホールを押さえました。しかし、いざ会場を見たとき、席数の多さに正直なところ不安も覚えました。そこで、まずは多くの方にご来場いただくための宣伝に力を入れました。大きな支持母体があるわけでもなく、地道なチラシ配りが中心です。当日に向けて話し合いを重ね、メンバーも快く協力をしてくれました。そのかいもあったのか、当日は約330名の方々にご来場いただき、大盛況となりました。

プログラムの第一部は、長富氏の力強く優しいピアノの演奏でした。長富氏は前回のコンサートに続いてのご演奏で、まだ高校を卒業したばかりというのも前回ご来場下さった方々にはご存知の通りです。前回にも増して、勢いというのか迫力というのか、情熱的でなおかつ繊細な感情が伝わってきて驚き、心が動かされました。今夏からはハンガリーに留学されるとのこと。今後のさらなる活躍が期待される素晴らしい演奏でした。(なお、ご自身のホームページでは、当日のご自身の感情を正直に書いておられます。ご覧下さい)

第二部は、大谷氏のヴァイオリンと伴奏の榎本潤氏のピアノの演奏です。大谷氏のヴァイオリンは、めまぐるしい指の動きといった技術的な部分にも目がいてしまうのですが、何よりもそこから奏でられる音にただ引き込まれてしまうという感じでした。また、今回の演奏曲には筋ジストロフィーという難病をもちながら作曲活動をされている中野稔氏の曲も2曲あり、そのことについてのエピソードを語る大谷氏の人柄にも胸を打たれました。

アンコールではなんと客席後方から現れて、会場をくまなく廻りながらの演奏でした。ヴァイオリンという楽器の素晴らしさを会場の全員と共有したいというお考えでしょうか。驚きはすぐに消えて、会場の皆様の表情も、笑顔にあふれたエンディングとなりました。

「愛のふれあいコンサート」は、今後も継続して開催いたします。より多くの方々に巢立ち会を知っていただく場として、また素晴らしい音楽を皆様と共有できる場として、次回以降も皆様のご来場を心よりお待ちしております。

最後に、巣立ち会の新たなグループホーム設立のため、ご来場いただいた皆様より多くのご寄附を頂戴いたしました。その合計は、466,806 円となりました。この場を借りて皆様のご協力に心より感謝申し上げます。ご寄附は、グループホーム設立のため大切にさせていただきます。

「冬のソナタ」が良かった。パッサムも好きだったから、ピアノでもヴァイオリンでも聴けてよかった。最後にヴァイオリンを客席で弾いてくれて、すごく迫力があってびっくりした。とても楽しかった。

（巣立ち風・白男川由美）



（大谷氏への花束贈呈）

## 平成 16 年度 社会福祉法人巣立ち会 決算報告

### 貸借対照表

（単位：千円）

資産の部				負債の部			
勘定科目	当年度末	前年度末	増減	勘定科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産	29,361	13,366	15,995	流動負債	3,460	1,089	2,371
現金預金	26,104	10,703	15,401	未払金	212	68	144
前払金	3,257	2,664	593	預り金	3,248	1,021	2,227
固定資産	19,268	18,339	929	負債の部合計	3,460	1,089	2,371
基本財産	10,000	10,000		純資産の部			
基本財産特定預金	10,000	10,000		基本金	21,300	19,300	2,000
その他の固定資産	9,268	8,339	929	基本金	21,300	19,300	2,000
車両運搬具	198	198		国庫補助金等特別積立金	2,725	1,618	1,108
器具及び備品	3,858	3,030	828	国庫補助金等特別積立金	2,725	1,618	1,108
権利	4,875	4,675	200	次期繰越活動収支差額	21,144	9,699	11,445
ソフトウェア	337	436	99	次期繰越活動収支差額	21,144	9,699	11,445
				当期活動収支差額	11,445	3,915	7,530
				純資産の部合計	45,169	30,616	14,553
資産の部合計	48,629	31,706	16,924	負債及び純資産の部合計	48,629	31,706	16,924

脚注 1 . 減価償却累計額 1,906,560 円

資金収支計算書

(単位:千円)

事業活動収支計算書

(単位:千円)

勘定科目		予算	決算	差異
授産事業活動による収支	収入			
	授産事業収入	2,475	1,814	661
	授産事業収入計	2,475	1,814	661
支出	授産事業	2,475	1,814	661
	授産事業支出計	2,475	1,814	661
	授産事業活動資金収支差額			
福祉事業活動による収支	収入			
	私的契約利用料収入	1,440	1,440	
	利用料収入	11,190	10,992	198
	経常経費補助金収入	111,894	109,336	2,558
	寄附金収入	1,550	2,934	1,384
	雑収入	1,550	12,821	11,271
	受取利息配当金収入		3	3
	会計単位間繰入金収入	1	2,308	2,307
	経理区分間繰入金収入		950	950
	福祉事業収入計	127,625	140,785	13,159
支出	人件費支出	74,934	67,406	7,528
	事務費支出	41,745	46,764	5,019
	事業費支出	9,050	9,533	483
	会計単位間繰入金支出		2,308	2,308
	経理区分間繰入金支出		950	950
福祉事業支出計	125,729	126,961	1,232	
	福祉事業活動資金収支差額	1,897	13,824	11,927
施設整備等による収支	収入			
	施設整備等補助金収入		1,631	1,631
	施設整備等収入計		1,631	1,631
支出	固定資産取得支出		1,831	1,831
	施設整備等支出計		1,831	1,831
	施設整備等資金収支差額		200	200
財務活動による収支	収入			
	財務収入計			
支出	財務支出計			
	財務活動資金収支差額			
	予備費			
	当期資金収支差額合計	1,897	13,624	11,727
	前期末支払資金残高	12,277	12,277	
	当期末支払資金残高	14,174	25,901	11,727

勘定科目		本年度	前年度	増減	
授産事業活動収支の部	収入				
	授産事業収入	1,814	1,997	183	
	授産事業収入計	1,814	1,997	183	
支出	授産事業	1,814	1,997	183	
	授産事業支出計		1,997	183	
	授産事業活動収支差額				
福祉事業活動収支の部	収入				
	私的契約利用料収入	1,440		1,440	
	利用料収入	10,992	8,394	2,599	
	経常経費補助金収入	109,336	96,059	13,277	
	寄附金収入	2,934	6,082	3,148	
	雑収入	12,821	2,207	10,614	
	国庫補助金等特別積立金取崩額	523	257	267	
	福祉事業収入計	138,047	112,998	25,048	
	支出	人件費支出	67,406	64,659	2,747
		事務費支出	46,764	35,598	11,167
事業費支出		9,533	6,190	3,343	
減価償却費		902	788	114	
福祉事業活動支出計		124,605	107,235	17,370	
	福祉事業活動収支差額	13,442	5,763	7,679	
事業活動外収支の部	収入				
	受取利息配当金収入	3		3	
	会計単位間繰入金収入	2,308	1,370	938	
	経理区分間繰入金収入	950	2,240	1,290	
	事業活動外収入計	3,261	3,610	349	
	支出	会計単位間繰入金支出	2,308	1,470	838
経理区分間繰入金支出		950	2,140	1,190	
事業活動外支出計		3,258	3,610	352	
	事業活動外収支差額	3		3	
	経常収支差額	13,445	5,764	7,682	
特別収支の部	収入				
	施設整備等補助金収入	1,631	1,469	162	
	施設整備等寄附金収入		1,482	1,482	
	その他の特別収入		1,658	1,658	
	特別収入計	1,631	4,609	2,979	
支出	基本金組入額	2,000	3,300	1,300	
	固定資産売却損及び処分損		30	30	
	国庫補助金等特別積立金積立額	1,631	1,469	162	
	その他の特別損失		1,658	1,658	
	特別支出計	3,631	6,458	2,827	
	特別収支差額	2,000	1,848	152	
	当期活動収支差額	11,445	3,915	7,530	
繰越活動収支差額の部	前期繰越活動収支差額	9,699	5,783	3,915	
	当期末繰越活動収支差額	21,144	9,699	11,445	
	基本金取崩額				
	基本金繰入額				
	その他の積立金取崩額				
	その他の積立金積立額				
	次期繰越活動収支差額	21,144	9,699	11,445	

## 三鷹市精神障がい者地域自立支援事業を委託

### ～コニー・ロビンソン氏講演会を開催～

当会では、6月から三鷹市の新規事業である「三鷹市精神障がい者地域自立支援事業」の委託を受けました。

この事業は、仲間として支えあう協働・支援活動「ピアサポート」をすすめることで、在宅精神障がい者の自立生活を継続させ、社会的入院状態にある精神障がい者の地域生活の移行を促進することなどを目的とした事業です。

具体的には、次の4つの事業を実施していく予定です。

- (1) ピアカウンセリング講座の実施とピアサポート支援
- (2) ピアによる精神障がい者理解を深めるための普及・啓発活動
- (3) 孤立・引きこもりに直面する精神障がい者に対する友愛訪問
- (4) 長期入院者の退院後の地域生活が円滑に進むためのコーディネートとサポート活動



(コニー・ロビンソン氏)

この事業を開始するにあたり、ちょうど縁があり、アメリカのカリフォルニア州で長らく当事者活動の中心としてご活躍されてきたコニー・ロビンソン氏に講演をお願いしたところ、快諾をいただき、去る6月13日(月)の午前に講演会を実施することができました。

当日、急なお知らせだったにもかかわらず、100名を超える参加がありました。そのうちの3分の2以上が当事者の方で、このテーマに対しての関心の高さがうかがわれました。

講演会では、まず三鷹市の健康福祉部長の岩下様からご挨拶をいただきました。「精神障がい者に対する福祉においても、市町村レベルでの取り組みが大事になってきた。この事業は今後も息長く取り組んでいきたい」と、力強い励ましをいただきました。

その後の講演では、「ピア・アドボケート」という聞きなれないテーマや、通訳をはさんで聞くといういつもとはちょっと違った状況であるにもかかわらず、参加者は皆、熱心に聞いていました。

「私たちは決して価値のない人間ではなく、サービスを自分で選ぶことができる“コンシューマー”です」

「解決してあげるのではなく、いっしょになって選択肢を考えるのがピア・アドボケーターの役割」「お互いに夢を持ち、自分が一人ではないと思う」など、コニー氏のメッセージはどれも心に残るものばかりでした。

講演会終了後は、希望者が残り、コニー氏とランチパーティーを楽しみました。暖かい人柄に、皆も自然と笑顔になっていました。

今後も当事業は、地域にピアサポートを根付かせるような様々なプログラムを実施していきます。どうぞご期待下さい。(担当;長門)



## 平成16年度 巣立ち賛助会 決算報告

項目	収入	項目	支出
会費収入	3,743,930	寄附金	0
雑収入	60	支払手数料	6,950
前期繰越金	3,003,946	事務費	1,100
		後期繰越金	6,739,886
合計	6,747,936	合計	6,747,936

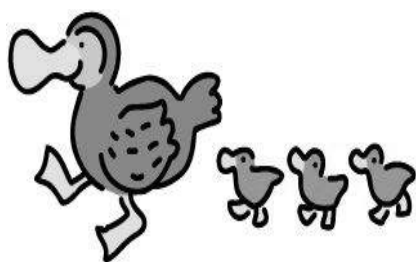
たくさんの方々から、会費やご寄付をいただいております。ありがとうございます。

（平成16年度分として）

西村清隆様

（平成17年度分として）

ト部啓子様、会田孝太郎様、白井重太郎様、福島彪一郎様、平岩一江様、高山克巳様、吉田政治様  
関水恒彦様、長門栄治様、宇都宮和子様、尾向陽子様、秦久美子様、西雲ユキ子様、熊谷直樹様、角正巳様  
大村秀子様、宮地秀樹様、平川淳一様、吉原共蔵様、野路耕一郎様、箕輪安儀様、箕輪美智子様、渡部譲様  
高橋芳恵様、平塚登喜子様、山田三郎様、仙川ムラタクリニック様、森田昭宏様、木内仁様、西村清隆様  
田尾光子様、永田俊二様、飯野敏様、(株)東部第一様、石川誉興様、大田司様、小野巖様、かささぎ会様  
小島明様、長谷部史乃様、佐々木いづみ様、村田和様、大谷さかゑ様、小口操様、宮澤一寿様、杉田清江様  
新井進之様、阿部昭二様、渡辺洋文様、柴田文様、万田幸子様（4月6日から6月1日到着分）



### 賛助会費

年間 一口 3,000円  
郵便振替 口座番号 00140-4-542860  
加入者名 巣立ち会 賛助会

巣立ち賛助会 会長 國井良彦

### 編集後記

5月戦線が終わって息つく間もなく、すぐに6月戦線に突入した。毎年なぜか6月がいちばんきつく、半分うつになる。今年は覚悟していたので、その分有利だったが、あまり振り返りたくない月であったことに変わりはない。切れずに家庭を支えてくれてる妻に感謝したいと思う。（長門）

発行所 〒157-0073 東京都世田谷区砧6-26-21  
特定非営利活動法人 障害者団体定期刊行物協会  
定価 50円  
編集；社会福祉法人巣立ち会  
〒181-0014 東京都三鷹市野崎2-6-6  
0422-34-2761  
<http://sudachikai.eco.to/>  
[sudachi-kaze@sudachikai.eco.to](mailto:sudachi-kaze@sudachikai.eco.to)  
広報委員会（長門・能上・鈴木）